（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達放課後等デイサービスLUMO天道校

公表日　2026年　2月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切な広さではないが工夫して使っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○	他校舎・本部にヘルプ要請をし、足りない人員を補う。 ヘルプにきていただいた際には子どもの様子を共有し安全面の確保に努めている	不足している日が多く、安全の確保が難しいこともある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段を上り下りする際には職員と手を繋いで昇り降りを行い、転倒し怪我や事故につながらないようにしている	階段の手すりや滑り止めが無いため危険である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	クラス終了後に掃除を行い、可能な限り清潔な状態で過ごすことが出来る環境にしています。	設備や備品の老朽化が進んでいる 特にフロアマットの状態が悪い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パニックになっている時や気持ちの切り替えが難しい時などにクールダウンを行う部屋として使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		指導員全員が参画できるように努力している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なアンケートを実施アンケート結果をもとに可能な限り業務改善につなげるようにしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	記録や雑務の際に行っている。	話し合いを行う時間が少ないが、業務改善には努めている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	定期的なアンケートを実施しアンケート結果をもとに可能な限り業務改善を行うようにしている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○	たまに校舎間で時間を作りマットの補助の練習や原始反射についての研修行っている	他所で研修を受講する機会がない
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホワイトボードに運動メニューを書き子どもたちには今日行う運動が目で見て把握できるようにしています	HPには掲載されていない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○	回答なし。	スタッフ間での話合いが足りていない
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	モニタリングではスタッフの意見が反映され作成後に回覧し、理解を求めている	全員で話し合う場がないのが現状。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		体験時6か月ごとにアセスメントを取り反映出来る体制は整えている	全員で話し合う場がないのが現状。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の方に体験時にアセスメントシートを記入してもらい子どもの適応状況を確認している また、半年に一度更新してもらい確認している	把握できていない人もいる
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿いこどもの支援に必要な項目を適切に設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		進行する指導員がメニューを考えたのち共有し活動プログラムの立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		各指導員が持っている専門的知識を駆使し活動プログラムが固定化しないように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		出勤後朝礼を行いその日に行う業務の確認・役割分担を連携して支援・運営を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		フィードバック時に保護者の方からいただいた共有事項や怪我等の振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子どもの共有ノートを作り様子を日々記入し次回の利用の際に改善できるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを行い計画書の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		運動特化型の施設の為、学習支援や創作活動の支援は行っていないが、集団活動・生活技能の向上に向けた支援は行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		運動を行う周数などを子どもに決めてもらうなどを行い自己決定する力を育てる支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		運動指導している指導員又は児発管が参加している。	要望があれば参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	保護者の方や保育園・学校などから要望があった場合は連携して支援を行う体制を整えている。	関係機関と定期的な連携は行っていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の方や保育園・学校などから要望があった場合は情報共有を行なっている	基本的には情報共有は行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	保護者の方や保育園などから要望があった場合は情報共有を行なっている	基本的には情報共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	回答なし。	基本的には情報共有は行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○	回答なし。	関係機関との連携は基本的に行っていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	回答なし。	運動特化型の施設の為地域の子どもや児童館との交流は行っていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	回答なし。	参加していない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		クラス終了後に保護者の方に様子をお伝えしたり運動の様子の動画を送るなどを行い、課題や状況について共通理解をしてもらっている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	回答なし。	行っていない
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定や利用者負担額は契約時に児発管が丁寧な説明を行っている 運動プログラムはお子様が来た日に保護者に伝えている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方と面談を行い、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		面談の際に支援内容の説明を行い、支援計画書にサインいただき同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や電話などで保護者の方から連絡があった際には、面談を行い助言と支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	ご要望が多数あった場合は会社と相談し検討していく	行っていない。 今後も考えていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		校舎内で体制の整備を話し合い話し合った結果を保護者の方に周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		YouTubeやInstagramで定期的に活動内容や講演会の案内を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの棚に入れて保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚優位のお子様には絵カードなどを使って個別で声掛けを行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	回答なし。	事業所の行事に地域住民の招待は行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル作成をし、半年に1度子どもも一緒に訓練を行い保護者の方に周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し非常災害の発生に備え半年に1度こどもと一緒に避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	体験時保護者の方にアセスメントやフェイスシートに記入してもらい確認を行っている	アセスメントシートやフェイスシートで確認出来る事を伝え、指導員全員が周知できるようにする
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	運動特化型の療育の為、おやつやご飯の提供は行っていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に訓練を行い安全管理が出来ている中で支援を行う事が出来るようにしている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		運動前に子どもたちにも災害について話をし避難訓練を行っている。 保護者の方とも連携が取れるように周知を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した場合は指導員間で共有を行い再発防止に向けた対策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		3か月に1回虐待防止委員会を設けている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		児発管が契約時に説明を行っている	